

学術業績賞を受賞して



梶原逸朗
北海道大学

日本機械学会 機械力学・計測制御部門の学術業績賞を賜り、大変光栄に存じます。私は、これまで、機械構造物の振動特性計測・評価および振動制御に関する研究に従事してきました。そして、これら一連の研究を進める中で、産業応用という側面も重要視してきました。つまり、基礎的な研究で構築した手法・技術を如何にして実システムに適用するかを考え、その実施を経て社会に貢献したいという強い想いがありました。幸いにも、さまざまな企業から共同研究の機会をいただき、実システム(実製品)における課題を共有しつつ、それらの解決に向けた検討を、企業の研究者および私が所属する研究室の研究者・学生が一丸となって取り組み、研究を前進させることができました。今回の授賞理由も、企業との共同研究の内容が大きく関係しています。

日本機械学会の活動に参加させていただいたことも、私自身が成長できた大きな要因です。講演会はもちろんですが、若いときから学会の研究会および分科会に参加し、その後、幹事や主査も努めさせていただきました。これらの活動では、最先端の学問・技術について話題提供されると同時に、さまざまな分野の研究者によるさまざまな角度からの議論が展開され、私の知見を広げてくれました。このことが、研究を推進させる上で、大きな助けになりました。現在の若い研究者の皆さんには、ぜひこのような学会活動を盛り上げてほしいと思います。

最後に、学術業績賞というすばらしい賞をいただけたのは、私一人の力だけでなく、私と一緒に研究を実施いただいた方々のおかげです。特に、前述のとおり、共同研究を実施いただいた企業の研究者および他大学の先生方、ならびに私と同じ研究室でともに研究を実施された研究者・学生の努力がなければ、このような学術業績賞につながる成果は挙げられませんでした。この場を借りて、これらの方々に深く感謝申し上げます。これからも、研究に努力していく所存です。